

Ⅲ 千葉県体育・スポーツ推進の基本的な考え方

1 千葉県体育・スポーツ推進の基本理念

「千葉県体育・スポーツ推進計画」は、これからの本県の体育・スポーツのあるべき姿を展望し、「すべての県民がスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合いながら、健康で活力ある生活を送り、互いに支え合う『スポーツ立県ちば』」の実現を目指すものです。

この「スポーツ立県ちば」を実現するために、施策として

- ・「生涯スポーツの推進」
- ・「子どもの体力向上と体育の充実」
- ・「競技力の向上」
- ・「スポーツ環境の整備」
- ・「スポーツを活用した地域の活力づくり」

の5つを計画の柱としました。

また、本計画を策定するに当たり、新たに取り入れたことは次の4点です。

- ・千葉県体育・スポーツ推進計画策定検討会議・ワーキンググループを要綱に基づいて設置し、教育振興部をはじめ企画管理部や健康福祉部、商工労働部など、関係機関との調整や意見交換を行うことによって、より実効性の高い推進計画の策定に努めました。
- ・本県の体育・スポーツ推進に関する根拠条例、「千葉県体育・スポーツ振興条例」が平成22年12月に制定され、同条例に基づいた策定に努めました。
- ・「スポーツ立県ちば」の基本的な考えのもと、その実現に向けて策定に努めました。
- ・計画の内容として、「幼児期における体力づくりの推進」や、「プロスポーツを活用したスポーツの推進」、「豊かな自然を活かしたスポーツイベントの活用による千葉の魅力発信」、「国体開催を契機としたスポーツの拠点づくり」等を、新たな施策として盛り込み策定しました。

2 千葉県体育・スポーツ推進施策の視点

(1) 生涯スポーツの推進

子どもから大人、高齢者や障害のある人など県民のだれもがそれぞれの能力や体力、目的に応じて、日常的に運動やスポーツに親しむことは、心身ともに充実し活力ある生涯をより豊かに過ごしていく上で大切なことです。

このため、スポーツを通した「健康・体力づくり」の視点から、県民の健康・体力づくりや運動、スポーツへの主体的な取り組みの推進と、ライフスタイルに応じたスポーツ環境の整備が必要です。また、県民の多様なニーズに対応できるスポーツ情報の積極的な収集、ホームページや広報誌等の内容の充実、スポーツ関係団体との連携等を図り、市町村と連携した情報提供等が必要です。そして、本県の教育振興部をはじめ健康福祉部や商工労働部等の関係部局と連携した様々なスポーツ推進のための取り組みにより「する・みる・ささえるスポーツを通して、元気と活力ある県民を増やす」ことを目標に掲げ、生涯スポーツの推進を図る必要があります。

(2) 子どもの体力向上と体育の充実

幼児期の子どもは、体を動かしたいという運動欲求が強いことから、日頃の運動遊びを通して運動欲求の充足や体力の基礎を培うことが必要です。また、子どもは、学校や家庭、地域のスポーツクラブ等で遊びや様々な活動を通して、スポーツの楽しさや喜びを体験することにより、体力や運動能力が向上するとともに、仲間とのふれあいを通して豊かな社会性や人間性が養われます。

このため、「幼児期からの体力づくりや学校体育の充実を図る」という視点から、保護者への協力要請や指導者研修会等を通して、子どもたちにスポーツの魅力や優れた技能、スポーツマンシップ¹⁴⁾、健康と体力づくり等を指導できる指導者の育成と資質向上に努めるとともに、適切な運動部活動運営を促進するため「自らすすんで運動に親しむ幼児、児童生徒を育成する学校体育の推進」を目標に掲げ、子どもの体力向上と体育の充実を図る必要があります。

(3) 競技力の向上

平成22年の「ゆめ半島千葉国体」では、天皇杯・皇后杯獲得による完全優勝を達成し、選手と地域が一体となって「日本一」を味わい、県民に大きな感動を与えました。このように、トップレベルの競技者やその指導者たちが、技能を高め記録に挑戦する姿は、県民に大きな夢と感動を与えてくれます。また、トップアスリート¹⁵⁾など優秀なスポーツ選手や指導者等の有する能力を、地域で積極的な活用に努めることで、地域における人材育成の好循環の形成により、スポーツのすそ野の拡大につながります。

このため、「トップアスリートの競技力向上」という視点から、「国民体育大会の入賞、未来のアスリートの発掘・育成・強化」という目標掲げ、「競技力向上推進基本方針」に基づき、高い競技力を恒常的に維持するため、各スポーツ関係団体と連携し、計画的な選手の発掘・育成・強化や指導者の育成、スポーツ医・科学の活用などを行うとともに、国体で活躍した選手の能力を活用することや、千葉国体会場地市町等と連携した強化拠点づくりなど国体で培われた土壌を活かしながら、地域スポーツの推進に資する事業を展開する必要があります。

(4) スポーツ環境の整備

スポーツの推進に係る行政組織の連携・協力した取り組みや、スポーツ関係団体の充実した活動は、県民の豊かなスポーツライフを支援する上で不可欠です。

地域住民の日常的なスポーツ活動の場となる総合型地域スポーツクラブの設立・育成支援や地域の特性を生かした多様なスポーツに親しむ環境を整備することにより、スポーツを通して交流の場が広がり、地域の活性化を図ることができます。

また、県民の日常的なスポーツ活動の場や大規模なスポーツイベントの会場となる本県の中核スポーツ施設とスポーツ活動の支援体制の整備・充実が求められています。

さらに、長期的視点に立ったスポーツ推進施策を展開するためには安定した財源基盤の確立が必要です。

このため、県民の豊かなスポーツライフを支援する「スポーツ環境の整備」の視点

から、「県民のスポーツに親しむ機会の選択の幅を広げる」という目標を掲げ、千葉県総合スポーツセンター（以下、県総合スポーツセンターという。）のスポーツ施設・設備などの整備・充実や、県民の多様化するスポーツニーズに応じたスポーツ指導者の育成、スポーツイベントなどのスポーツ情報の収集・提供など人づくり・ハード面・ソフト面の視点からのスポーツの推進を図る必要があります。

（５）スポーツを活用した地域の活力づくり

プロスポーツチームのホームゲームの開催は、「みるスポーツ」という新しいスポーツ文化の定着をはじめ、地元チームの活躍が地域を元気にします。また、プロスポーツチームと、スポーツ少年団との交流活動等は、子どもたちに夢を与えると同時に、地域密着を目指す各チームにとっても意義あるものです。

また、「ちばアクアラインマラソン」や「国際千葉駅伝」等の開催は、県民のそれぞれの体力や年齢、目的等に応じてスポーツに取り組める場を提供することになり、「する・みる・ささえるスポーツ」のすそ野の拡大につながるものです。

さらに、全国規模の大会を県内で開催することにより、県内外から多くの集客を図ることができ、地域経済にも大きく貢献することが期待できます。

このため、プロスポーツを活用したスポーツの推進や、豊かな自然を活かしたスポーツイベントの活用による千葉の魅力発信、国体開催を契機としたスポーツの拠点づくりを通して「スポーツを活用した地域の活力づくり」の視点から、「スポーツと地域の特性を生かした千葉の魅力発信」という目標を掲げ、県民のスポーツに対する興味・関心をさらに高め競技力向上に資するとともに、地域の活性化やスポーツボランティア活動の推進等に寄与するためにも、スポーツの推進を図る必要があります。